

風そよよぐなみの小川の

夕暮れはみそぎそよ

夏のしずなりける

風がそよよと楢(なら)の葉を吹きわたるこのならの小川の夕方は、
(もうすっかりと秋のような気配だが)川辺の襖被(みそぎはらい)を
見ると、まだ夏であるのだなあ。

(百人一首 九八番 従二位家隆)

中一ニ三